

## 第1回 (仮称)「道の駅かみのかわ」基本構想・基本計画策定懇談会 資料

1. 道の駅の概要	1
2. 道の駅の動向	2
3. 利用者ニーズ調査	8
4. スケジュール	16

# 1. 道の駅の概要

## 1-1. 道の駅とは？

長距離ドライブが増え、女性や高齢者のドライバーが増加するなかで、道路交通の円滑な「ながれ」を支えるため、一般道路にも安心して自由に立ち寄り、利用できる快適な休憩のための「たまり」空間が求められています。

また、人々の価値観の多様化により、個性的でおもしろい空間が望まれており、これら休憩施設では、沿道地域の文化、歴史、名所、特産物などの情報を活用し多様で個性豊かなサービスを提供することかできます。

さらに、これらの休憩施設が個性豊かなにぎわいのある空間となることにより、地域の核が形成され、活力ある地域づくりや道を介した地域連携が促進されるなどの効果も期待されます。

こうしたことを背景として、道路利用者のための「休憩機能」、道路利用者や地域の方々のための「情報発信機能」、そして「道の駅」をきっかけに町と町とが手を結び活力ある地域づくりを共に行うための「地域の連携機能」、の3つの機能を併せ持つ休憩施設「道の駅」が誕生しました。

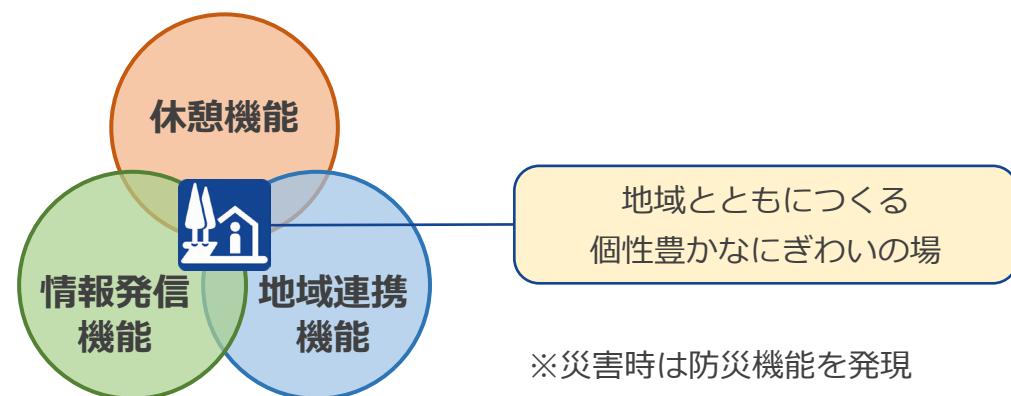
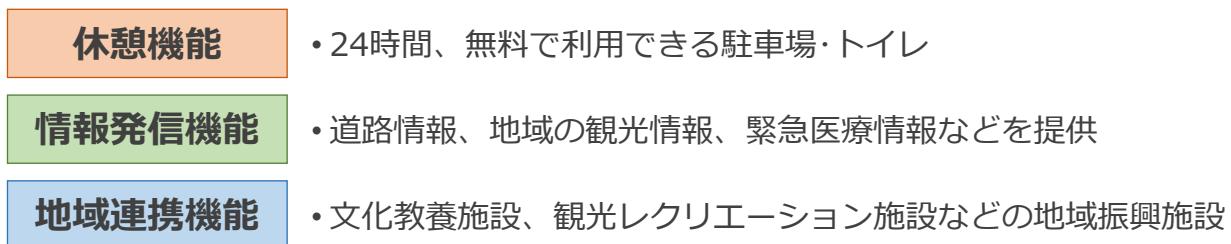
出典：国土交通省、「道の駅案内」<https://www.mlit.go.jp/road/Michi-no-Eki/outline.html>

## 1-2. 道の駅の目的と機能

### 1-2-1. 目的

- 道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供
- 地域の振興に寄与

### 1-2-2. 基本コンセプト

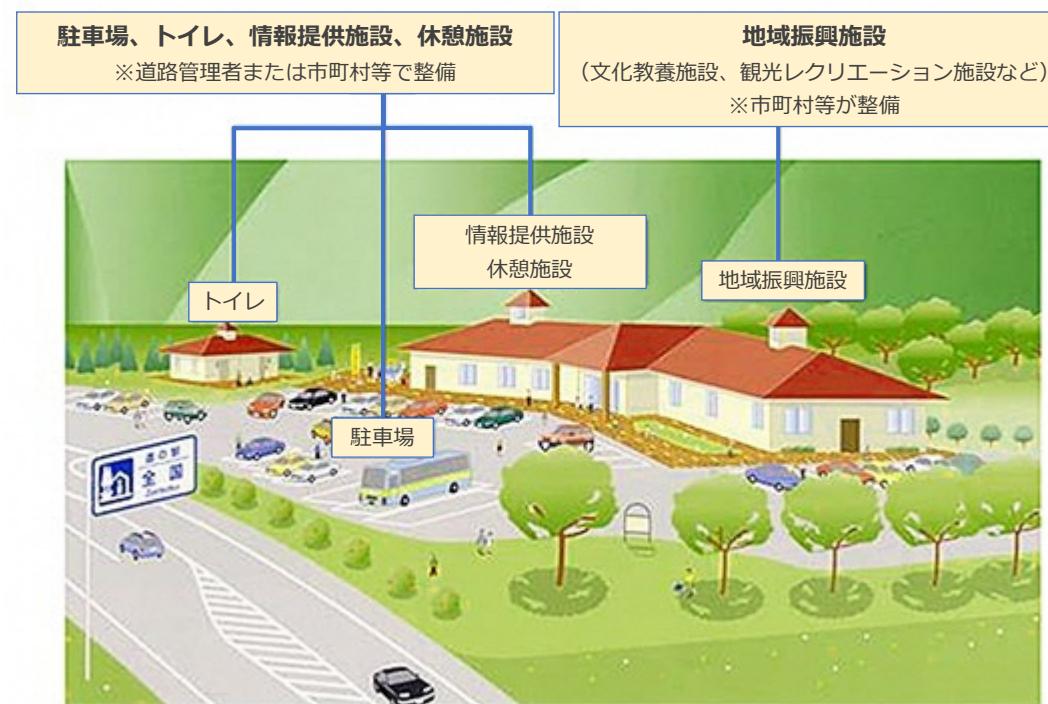


出典：国土交通省、「道の駅案内」<https://www.mlit.go.jp/road/Michi-no-Eki/outline.html>

## 1-3. 道の駅の設置者と施設配置

道の駅の施設は道路管理者と市町村等が整備する施設の2種で構成される**一体型道の駅**、市町村等が整備する施設のみで構成される**単独型道の駅**があります。

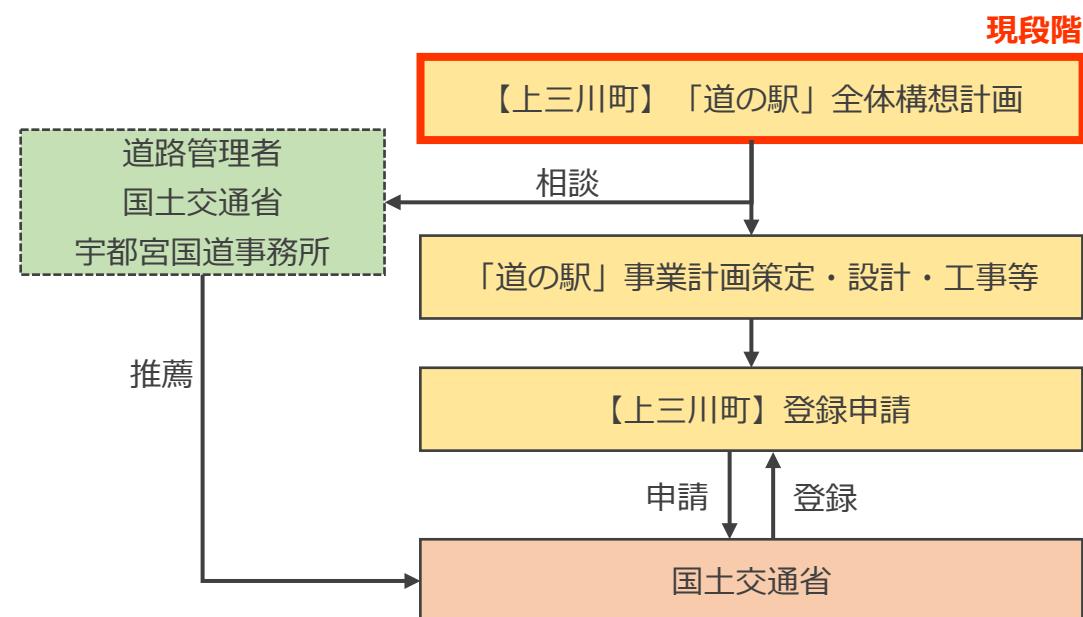
施設の整備主体イメージは下図の通りです。



出典：国土交通省、「道の駅案内」<https://www.mlit.go.jp/road/Michi-no-Eki/outline.html>

## 1-4. 道の駅整備まで

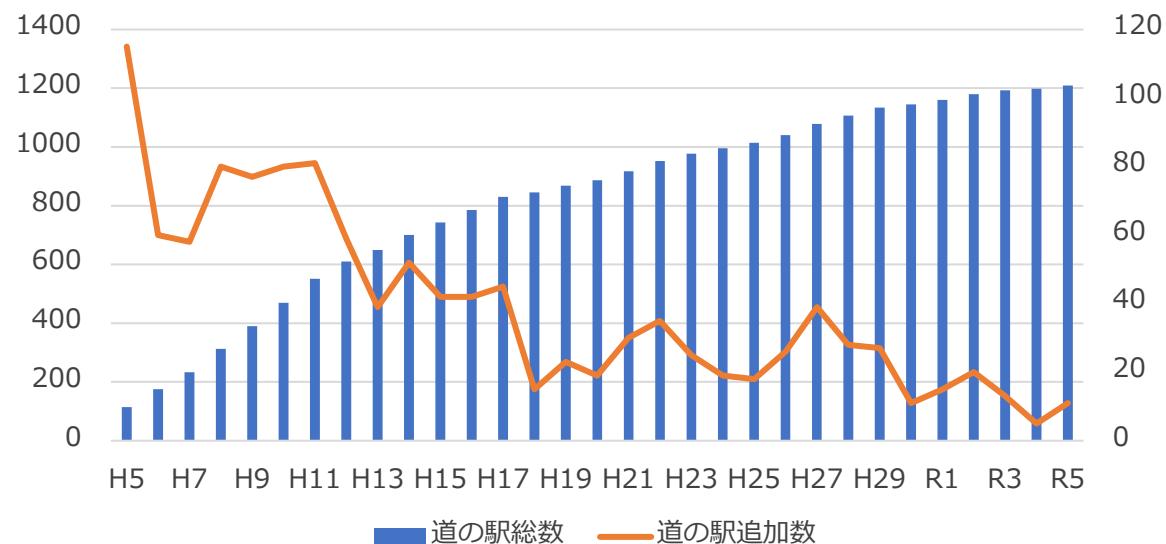
道の駅の整備までのフローは下図の通りです。整備までは上三川町が全体構想計画、事業計画・設計等を実施し、道路管理者である国土交通省 宇都宮国道事務所の推薦のもと、国土交通省に登録を申請します。



# 2. 道の駅の動向

## 2-1. 道の駅登録数の推移

平成5年4月に初回登録（103駅）が行われ、令和5年8月4日に行われた第59回登録で**現在1,209駅**となっています。



## 2-2. 道の駅に求められた多様な役割

平成5年の道の駅の誕生より、時代の経過とともに道の駅に様々な役割が求められています。

平成5年	建設省より「道の駅」制度化	→道の駅の誕生
平成16年	新潟中越地震発生時、道の駅が避難場所、支援施設、情報発信拠点として活用され、防災拠点としての役割が注目	→道の駅の防災拠点としての役割に注目【2-2-1】
平成23年	東日本大震災発生時、道の駅が災害応援の活動拠点、一時避難場所、地域コミュニティの維持などに活躍	→道の駅の防災拠点化推進【2-2-1】
平成25年	「国土強靱化政策大綱」において道の駅の防災拠点化推進	→道の駅の防災拠点化推進【2-2-1】
平成26年	「『小さな拠点』づくりガイドブック」において、道の駅の「小さな拠点」としての役割が注目	→道の駅が地域医療・福祉の拠点として注目【2-2-2】
	「『道の駅』による地方創生拠点の形成～モデル箇所の選定と総合的な支援～」よりモデル道の駅を選定	→道の駅が地方創生の拠点として注目【2-2-3】
平成27年	地方創生の核となる「道の駅」を重点的に支援する重点「道の駅」の選定	→道の駅の多様化する機能に対して支援【2-2-3】
	道の駅と大学の連携を推進し、労体験型実習を実施	→道の駅と大学との連携を推進【2-2-4】
平成28年	特定テーマ型モデル「道の駅」の募集・認定【特定テーマ：住民サービス】	→道の駅における住民サービスを重要視【2-2-5】
平成29年	特定テーマ型モデル「道の駅」の募集・認定【特定テーマ：地域交通拠点】	→道の駅に地域交通拠点としての役割を重要視【2-2-6】
令和1年	道の駅を世界ブランドへ、新「防災道の駅」、あらゆる世代が活躍する舞台となる地域センターに	→「道の駅」第3ステージ【2-2-7】

## 2-2-1. 防災拠点

- 道の駅は新潟県中越地震（平成16年）では、道路利用者や地元住民が道の駅に避難し、避難者支援、情報提供支援、災害復旧拠点施設として大きな貢献を果たし、平成23年の東日本大震災では、多くの被災者が避難し、被災者支援や復旧・復興支援に寄与
- 以上のことから、道の駅の防災機能は重要な役割として、「国土強靱化政策大綱（平成25年）」では、「**交通ネットワークの機能確保とあわせて、道の駅の防災拠点化を推進する**」とされた。

地方自治体と連携し、それぞれ必要な施設等を整備

道路管理者	地元自治体
◆非常用水の確保	◇地域防災計画への位置付け
◆非常用電源の確保	◇安否・医療情報等の提供
◆衛星通信等の配備	◇飲料水・毛布等の備蓄
◆非常トイレの整備	◇防災ヘリポートの整備
◆災害資材の備蓄	◇防災訓練・総合学習の場として活用

防災「道の駅」のイメージ

【参考】防災への備えの現状（直轄国道沿N=297）  
水:35%、防災トイレ:2%、電源:11%、衛星0%

### 新潟県中越地震における道の駅の活用

避難者に温泉施設を無料開放（新潟県内道の駅7駅）

駐車場に仮設住宅を建設（道の駅クロス10十日町）

給水車の基地（道の駅クロス10十日町）

避難場所として活用（道の駅越後川口）

### 事例 道の駅 みかも（栃木県 栃木市）

#### 国と藤岡町が連携し、首都圏被災時の支援拠点としての機能を整備

登録年：平成16年  
設置路線：国道50号  
駐車台数：大型39台、小型93台

特徴的な取組：  
以下の役割を担うように整備

- **避難所**
  - ・一次避難所として、スペースの提供
  - ・トイレ、飲料水の提供
- **輸送拠点**
  - ・東北自動車道、国道50号を利用し、運ばれてきた救援物資等を集約し、「みかも」周辺の被災地各所に分配
- **情報発信**
  - ・道路の規制情報や被災の情報等を提供
- **首都圏への支援拠点**
  - ・大地震による首都圏被災時に北からの物資輸送等の支援拠点

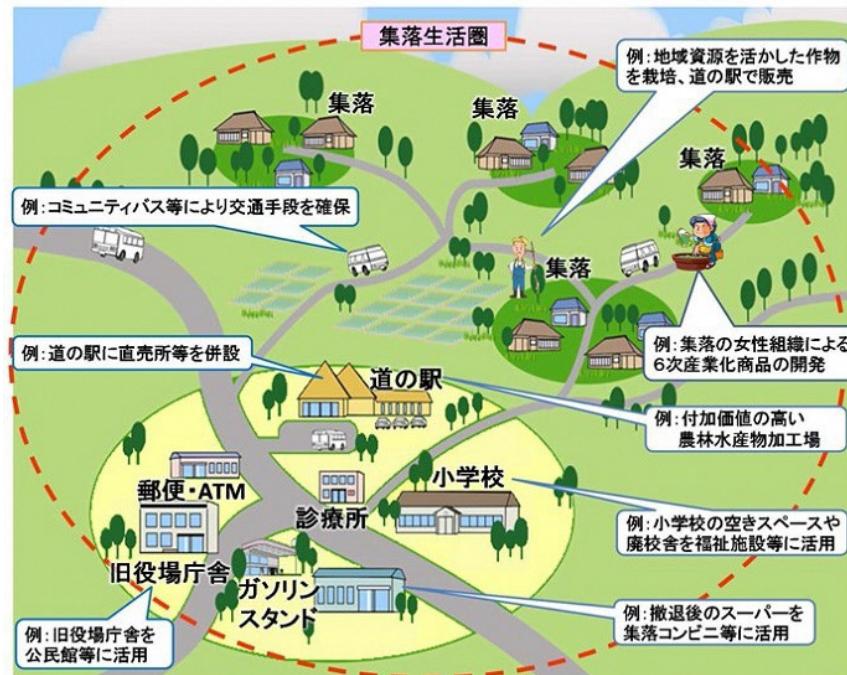
○情報提供施設  
○給水タンク(飲料用)  
○非常用電源装置  
○トイレ(トイレ用) (地中)  
○道路の規制情報や被災情報等の提供

○首都圏大地震時の北から首都圏への支援物資輸送拠点

## 2. 道の駅の動向

### 2-2-2. 小さな拠点

- 「小さな拠点」とは学区など、複数の集落が集まる基礎的な生活圏の中で、分散している様々な生活サービスや地域活動の場などをつなぎ、人やモノ、サービスの循環を図ることで、**生活を支える新しい地域運営の仕組みをつくらうとする取組**
- 「日常生活サービス機能が集約した『小さな拠点』事例集」（平成24年9月）では、**道の駅施設内や隣接地に医療、福祉、文化機能を備えた上に、公共交通（主にバス）の交通結束機能を備えた取組**など、12駅の道の駅事例が取り上げられている。



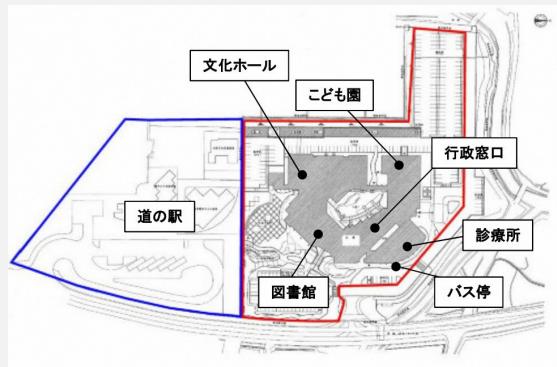
#### 事例 道の駅 鯉が窪（岡山県 新見市）

##### 住民サービス機能を道の駅に集約し、ワンストップサービスを実現

登録年：平成8年  
 設置路線：国道182号  
 駐車台数：大型6台、小型38台

特徴的な取組：

- 地域づくりの計画から運営まですべてにおいて住民主体を掲げ、地域コミュニティの形成に大きく寄与
- 診療所・図書館・認定こども園・行政窓口・産直市等の地域振興施設の機能を集約することによりワンストップサービスを実現し、先進的な「小さな拠点」を形成
- 道の駅を中心としたデマンドバス等の運行や宅配・安否確認サービスの実施など高齢者に優しいサービスも提供



### 2-2-3. 地方創生拠点

- 「『道の駅』による地域活性化の拠点形成～モデル箇所の選定と総合的な支援～」が平成26年報道発表し、進化する道の駅の機能強化を図り、**地方創生の拠点とする先駆的な取組を「全国モデル『道の駅』」として6駅選定**
- また、“地域活性化の拠点となる優れた企画があり、今後の重点支援で効果的な取組が期待できるもの”として「重点『道の駅』」を選定し、取組を広く周知するとともに、取組の実現に向けて、関係機関が連携し、重点支援
- “地域活性化の拠点となる企画の具体化に向け、地域での意欲的な取組が期待できるもの”として「重点『道の駅』候補」を選定し、関係機関が連携し、企画検討等を支援

**地域外から活力を呼ぶ  
ゲートウェイ型**

**インバウンド観光「道の駅」**  
外国人案内所、免税店、無料公衆無線LAN、EV充電設備、海外対応ATM 等

**観光総合窓口「道の駅」**  
地域全体の観光案内、宿泊予約窓口 等

**地方移住等促進「道の駅」**  
地方移住のワンストップ窓口  
ふるさと納税の情報提供 等

「道の駅」が  
活力を呼び、雇用を創出、  
地域の好循環へ

**地域の元気を創る  
地域センター型**

**産業振興「道の駅」**  
地方特産品のブランド化、6次産業化 等

**地域福祉「道の駅」**  
診療所、役場機能、高齢者住宅 等

**防災「道の駅」**  
広域支援の後方支援拠点、防災教育 等

（※ 機能を兼ねるタイプも想定）

	地域外から活力を呼ぶゲートウェイ型	地域の元気を創る地域センター型
<b>インバウンド観光</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多言語に対応した案内など、外国人観光案内所認定の取得</li> <li>地酒やお菓子など、地域の特産品を免税で購入できる免税店の併設</li> <li>外国発行クレジットカードの利用可能ATMの設置</li> <li>無料公衆無線LAN環境の提供</li> <li>電気自動車による周遊観光を可能とするEV充電設備の設置 等</li> </ul>	<b>産業振興</b>
<b>観光総合窓口</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光協会等と連携した地域全体の観光案内機能</li> <li>宿泊予約やツアー手配のための旅行業の登録</li> <li>単なる物見遊山にとどまらない、史実・文化など知的好奇心を刺激する機会の提供</li> <li>地域資源を活かした体験・交流機会の提供 等</li> </ul>	<b>地域福祉</b>
<b>地方移住等促進</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>空き家情報や就労情報など、地方移住に必要な情報のワンストップ提供</li> <li>若者に地域の魅力を体験する機会の提供</li> <li>運営スタッフの公募等による雇用機会の創出</li> <li>ふるさと納税に関する情報提供 等</li> </ul>	<b>防災</b>

## 2. 道の駅の動向

### 事例 道の駅 遠野風の丘（岩手県 遠野市）

#### 広域防災拠点として高度な防災機能を分担

登録年 : 平成11年  
設置路線 : 国道283号  
駐車台数 : 大型16台、小型212台

特徴的な取組 :

#### ● 防災の拠点

東日本大震災では、復旧、救援に向かう自衛隊・消防隊やボランティアの方々の後方支援拠点として機能

#### ● 産業振興の拠点

沿岸被災地の海産物を販売する鮮魚店を開設し、被災地の復興を支援



#### ● 観光や地方移住等 総合案内拠点

沿岸被災地の海産物を販売する鮮魚店を開設し、被災地の復興を支援

### 事例 道の駅 とみうら（千葉県 南房総市）

#### 観光資源（びわ等）をパッケージ化し、都市部の旅行代理店へ販売

登録年 : 平成5年  
設置路線 : 国道127号  
駐車台数 : 大型15台、小型69台

特徴的な取組 :

#### ● 道の駅を核とした6次産業化

道の駅が中心となり特産のびわを加工、オリジナル商品（50種類）を開発、販売

#### ● 地域固有の観光資源をパッケージ化し、観光ニーズを呼び込み

観光資源をパッケージ化し、都市部の旅行会社へ販売（道の駅が旅行業資格を取得）



#### ● 地域の伝統・文化の継承、交流のための取り組み

富浦人形劇など、地域の伝統・文化の継承の場としても活用

### 事例 道の駅 萩しーまーと（山口県 萩市）

#### 地元業者と魚の加工品の開発。その商品は「究極のおみやげ」等様々な賞を受賞

登録年 : 平成12年  
設置路線 : 山口県道67号線  
駐車台数 : 大型4台、小型84台

特徴的な取組 :

● 萩漁港の水揚げ高の約15%を販売し、地産地消に寄与

● 地元加工業者と連携して生み出したヒット商品は、地域全体の活性化に貢献



### 事例 道の駅 もてぎ（栃木県 茂木町）

#### 地域の魅力へのアクセスポイントとしてのゲートウェイ機能

登録年 : 平成8年  
設置路線 : 国道123号  
駐車台数 : 大型5台、小型331台

特徴的な取組 :

#### ● 道の駅を核とした6次産業化

道の駅が農家から柚子等を全量買取、手作業で加工、オリジナル商品（33種類）を開発、販売

#### ● 地域のにぎわいの拠点

#### ● 地域の防災拠点

防災力向上のための防災館を併設。平時からの防災啓発に活用



#### ● ふるさと納税の推進

道の駅の商品をふるさと納税のお礼として地域PRに活用

### 事例 道の駅 川場田園プラザ（群馬県 川場村）

#### 「農業プラス観光」で人口約3,700人の村に年間約120万人が来訪

登録年 : 平成9年  
設置路線 : 群馬県道64号線  
駐車台数 : 大型5台、小型853台

特徴的な取組 :

#### ● 農業プラス観光

園内では朝取り野菜・ブルーベリーや乳製品などの地域資源を活かし、果物狩りや陶芸などの体験やイベント等により、村民と来訪者の交流の機会を提供

#### ● 地域のゲートウェイ

観光協会スタッフがビジターセンターに常駐し、宿泊、体験施設など、地域全体の観光案内



### 事例 道の駅 内子フレッシュパークからり（愛媛県 内子町）

#### 地元農家が中心となった商品開発、町内の農産物販売額の15%を占める

登録年 : 平成8年  
設置路線 : 国道379号  
駐車台数 : 大型2台、小型176台

特徴的な取組 :

#### ● 季節の農作物にあわせて加工商品を開発販売

内子町内の農産物販売額の約15%を売り上げる

#### ● ITを導入して鮮度を追求することで、安全安心な農産物提供システムを構築

出荷する地場農産物にトレーサビリティやPOSシステムを導入  
販売情報が連絡され、在庫に合わせて出荷者が直接納品することで鮮度向上を追求



# 2. 道の駅の動向

## 2-2-4. 大学との連携

- 道の駅における大学との連携、受入体制を整備し、**若者の就労体験や交流の場として活用**
- 地位の魅力の集まる道の駅と観光学等を学ぶ地域外の若者が交流することで、**新たな価値の創造を図る**
- 実施内容例：
  - ・観光資源調査、地域活性化プログラムの企画・立案
  - ・HPやSNSなどによる情報発信
  - ・地場産品を活用したオリジナル弁当などの商品開発



- 「全国道の駅連絡会」と就業体験型実習に関する基本協定を締結している大学は、令和元年12月現在、コンソーシアムを含む67大学（大学数としては71大学）

都道府県	大学名	都道府県	大学名
北海道	北海道大学	長野県	長野大学
	稚内北星学園大学		松本大学
	北星学園大学	岐阜県	中部学院大学
	旭川大学		中部学院大学短期大学部
	北海商科大学	静岡県	常葉大学
	釧路公立大学		名古屋外国語大学
	釧路短期大学	愛知県	名城大学
北見工業大学	鈴鹿大学		
青森県	青森大学	京都府	福知山公立大学
	青森中央学院大学		平安女学院大学
岩手県	岩手県立大学	大阪府	立命館大学
	岩手大学		大阪観光大学
山形県	東北芸術工科大学	兵庫県	近畿大学
	東北公益文科大学		阪南大学
福島県	山形大学	奈良県	桃山学院大学
	福島大学		神戸海星女子学院大学
茨城県	茨城キリスト教大学	和歌山県	神戸芸術工科大学
	茨城県立農業大学校		流通科学大学
栃木県	筑波大学	鳥取県	神戸学院大学
	宇都宮大学		帝塚山大学
	佐野短期大学	和歌山大学	
埼玉県	文星芸術大学	岡山県	鳥取大学
	淑徳大学		倉敷芸術科学大学
	立教大学	徳島県	岡山理科大学
	城西大学		徳島大学
千葉県	平成国際大学	香川県	香川大学
	江戸川大学		愛媛県
東京都	城西国際大学	福岡県	
	跡見学園女子大学		九州産業大学
	帝京大学	長崎県	長崎県立大学
法政大学	長崎国際大学		
神奈川県	専修大学	大分県	長崎総合科学大学
	文教大学		日本文理大学
山梨県	山梨学院大学	宮崎県	宮崎大学

### 事例 道の駅「もてぎ」× 跡見学園女子大学

**道の駅「もてぎ」 × 跡見学園女子大学**

**女子大生目線で魅力を再発見、3つの視点で地域活性化をめざした提案を行います。**

**調査**

- 大学にて合同打合せ
- 茂木町の魅力的な施設を再発見
  - 特定の観光施設に集中する観光客をどのように町へつなげようか...
- カヌー体験
  - 茂木の綺麗な那珂川を身近に感じることができました。
- 菌床しいたけ栽培体験
  - 茂木町の働く場として、成り立っていることを知りました。
- 女子大生目線でポップ調査
  - 訪日外国人観光客向けのポップ作りにも取り組んでほしい。
- 農業体験
  - 農家の方から農業の抱える様々な課題をお聞きました。
- 道の駅へ提案
  - 食を通じた茂木産ブランド化の開発ができれば!
  - 茂木を訪れる若者の観光需要を喚起できたら!
  - 着地型観光の「オリジナル」をつくることができたら!
  - アクティブプログラムをもっと提供できたら!
  - 英語表記のPOPで反響などを調査できたら! など!!
- 企画

「道の駅」から茂木を調査しよう!

- ① 若者需要の喚起
- ② 新しいインパウンドの仕組みづくり
- ③ 茂木町の食のブランド化を図る

食の祭典、「道-1」グランプリに学生スタッフとして参加!

茂木町の魅力を発信

国土交通省 関東地方整備局

国土交通省では、全国各地で、「道の駅」と大学との連携を実施しています。この取り組みは、地域の魅力の集まる「道の駅」と大学生の交流により新たな価値の創造を図り、観光地域づくりなどを担う将来の人生育や地方創生にも奇与が期待されているところです。

## 2. 道の駅の動向

### 2-2-5. 住民サービス部門 モデル道の駅

- 国土交通省では、道の駅の質的向上に向けた取組として、全国各地の道の駅の模範となって質的向上に寄与する“特定テーマ型モデル「道の駅」”の取組を実施
- 平成28年度は、テーマとして“**住民サービス**”を設定
- 中山間地域及び漁村地域等において、高齢化社会に対応した地域福祉向上のための取組、地域課題に対応した住民生活支援のための取組、小さな拠点形成を目指した取組など、**公共の福祉を増進することを目的とした地域住民へのサービス向上に資する取組**を、現在実施し成果をあげているもの

都道府県	市町村	駅名	主な特徴
埼玉県	おがのまち 小鹿野町	りょうかみ やくし 両神温泉薬師の湯	町が道の駅を地域福祉の拠点として位置づけ、高齢者の生きがい作りの取組を展開し、地域住民の交流の場として機能
岐阜県	高山市	しょうかわ 桜の郷荘川	まちづくり協議会への積極的な参画・連携により、住民ニーズを踏まえた健康増進の取組を展開し、地域住民の交流の場として機能
京都府	なんたん 南丹市	みやま 美山ふれあい広場	住民自治組織が中心となり、行政サービスや福祉サービス等の希望・施設を連携させ、総合的な拠点を形成
岡山県	にいみ 新見市	鯉が窪	計画から運営まで全てで住民主体を掲げ、行政窓口や診療所等を集約してワンストップサービスを実現した「小さな拠点」を形成
香川県	しょうどしま 小豆島町	しょうどしま 小豆島オリーブ公園	道の駅を福祉施策の中核と位置づけ、オリーブ販売等による収益を福祉関連施設の運営に還元することで住民サービスを実現
宮崎県	にちなん 日南市	さかたに 酒谷	道の駅の収益を自治組織に還元し、住民主体で道の駅を地域の自治・交流活動の拠点として育て、「小さな自治」を形成

#### 事例 道の駅 桜の郷荘川（岐阜県 高山市）

##### 道の駅とまちづくり協議会の連携による、地域住民交流拠点の形成

登録年 : 平成12年  
 設置路線 : 国道158号  
 駐車台数 : 大型5台、小型156台

特徴的な取組 :

- 温泉施設や屋内運動場を活用した住民密着型の取組により、住民の憩いの場、交流の場として機能
- 温泉施設利用者への無料送迎サービス、屋内運動場でのスポーツフェスティバルの開催等、地域住民の健康増進に資する様々な取組を実施。
- 道の駅が地区のまちづくり協議会へ積極的に参画・連携し、住民ニーズを踏まえた取組を展開することで、地域住民の交流の場を形成。



### 2-2-6. 地域交通拠点部門 モデル道の駅

- 平成29年度は、テーマ（部門）として“**地域交通拠点**”を設定
- 中山間地域及びその周辺地域において、「道の駅」が**公共交通モード間の接続拠点**となっており、**接続機能向上の取組**により、現時点で**地域住民の生活の足の確保に資する成果**をあげているもの

都道府県	市町村	駅名	主な特徴
北海道	あしよろちょう 足寄町	あしよろ銀河ホール 21	・バス車両と一般車両の駐車スペースを分離した空間設計 ・路線バスの運行時間に合わせて、待合所の営業時間を延長
宮城県	石巻市	じょうぼん さと 上品の郷	・民間バス事業者との連携により、バス停を道の駅の待合スペース前に移設 ・道の駅を市の総合交通戦略に位置づけ ・東日本大震災後に、仮設住宅路線を新設
石川県	輪島市	輪島	・将来の無人自動走行を見据えた電動カートに試験走行など先進的な取組を実施 ・隣接する文化会館との渡り廊下を整備し、利用者の利便性を向上
奈良県	黒滝村	よしのじ くるたき 吉野路 黒滝	・コミュニティバスと路線バスの乗継利用者に、路線バスの乗車券を無料配布 ・路線バスとコミュニティバス相互の運行状況に合わせて時間調整を実施
広島県	北広島町	舞ロードIC千代田	・高速バス停への乗継経路上にエレベーターや屋根を設置し、乗継利便性を向上 ・民間バス事業者との連携により、高速バスのチケット販売やICカードチャージ機の設置を実施
愛媛県	松野町	虹の森公園まつの	・民間バス事業者との連携により、路線バスの終点を道の駅まで延伸 ・路線バスとコミュニティバス相互の運行状況に合わせて時間調整を実施
福岡県	宗像市	むなかた	・民間バス事業者との連携により、路線バスのルートを経由に変更 ・道の駅から天神行き特急バスを新設

#### 事例 道の駅 輪島（石川県 輪島市）

##### 地域課題解決のための電動小型低速車「WA-MO」による交通システムの検証

登録年 : 平成14年  
 設置路線 : 県道1号線  
 駐車台数 : 大型8台、小型12台

特徴的な取組 :

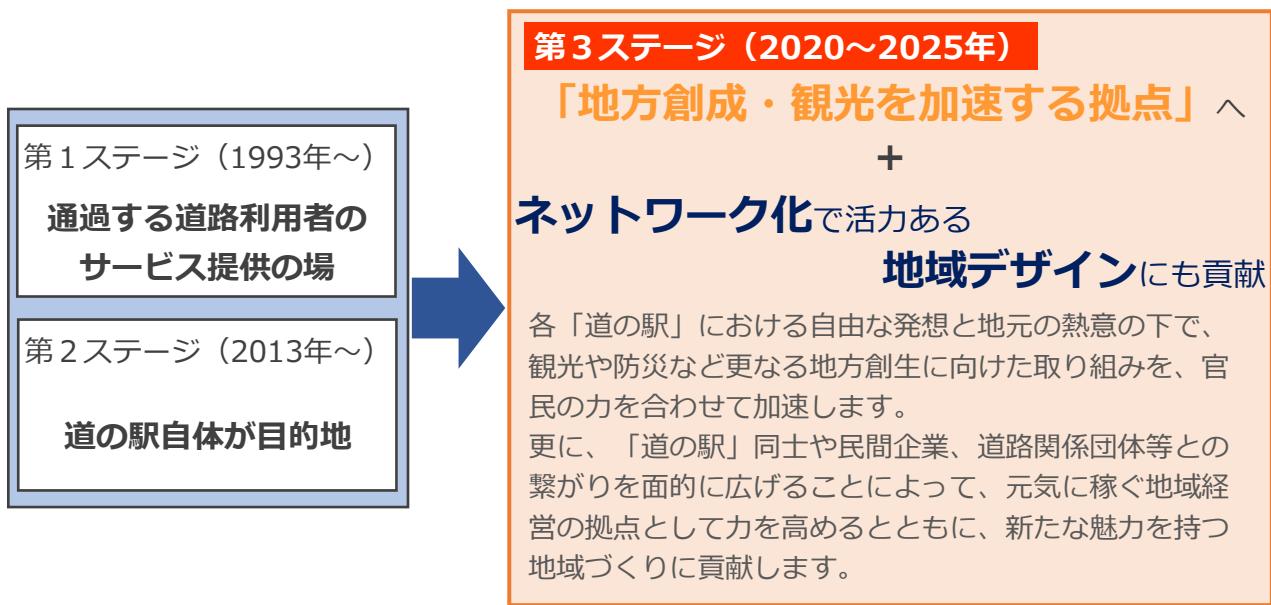
- 道の駅を起点として、将来の無人自動走行も見据えた電動カートの試験走行を実施。
- 隣接している文化会館と道の駅の間を渡り廊下で結び、利用者が雨でも濡れずに行き来できる環境を整備



# 2. 道の駅の動向

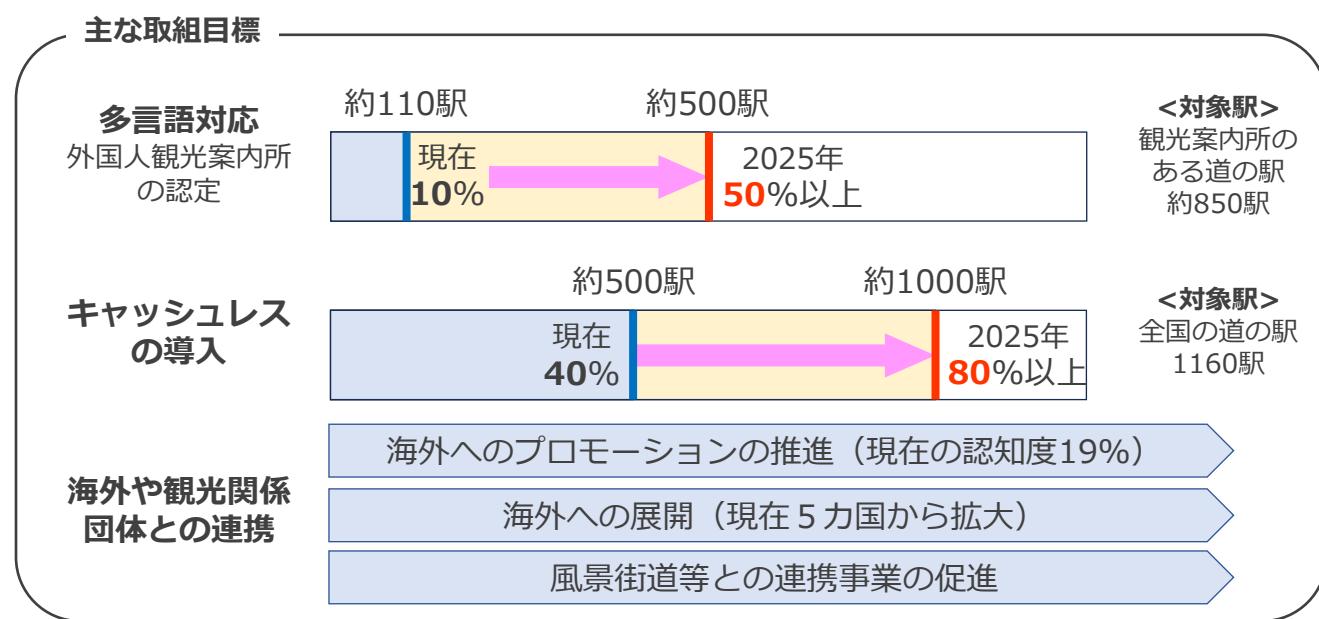
## 2-3. これからの道の駅【道の駅第3ステージ】

- 道の駅第3ステージでは、各道の駅の設置者や運営者の自由な発想による多様な取り組みを基本としつつ、**地域の活性化や安全・安心等の実現**のため、全国に展開している強みを活かし、「**個から面（ネットワーク）**」としての取り組みをさらに強化するもの
- また、地方創生を加速するため、民間の地域活性化等の新たな技術・アイデアの活用や、道路関係団体との連携による道路サービスの魅力の向上等、多様な主体との「**新たな連携**」を促進する



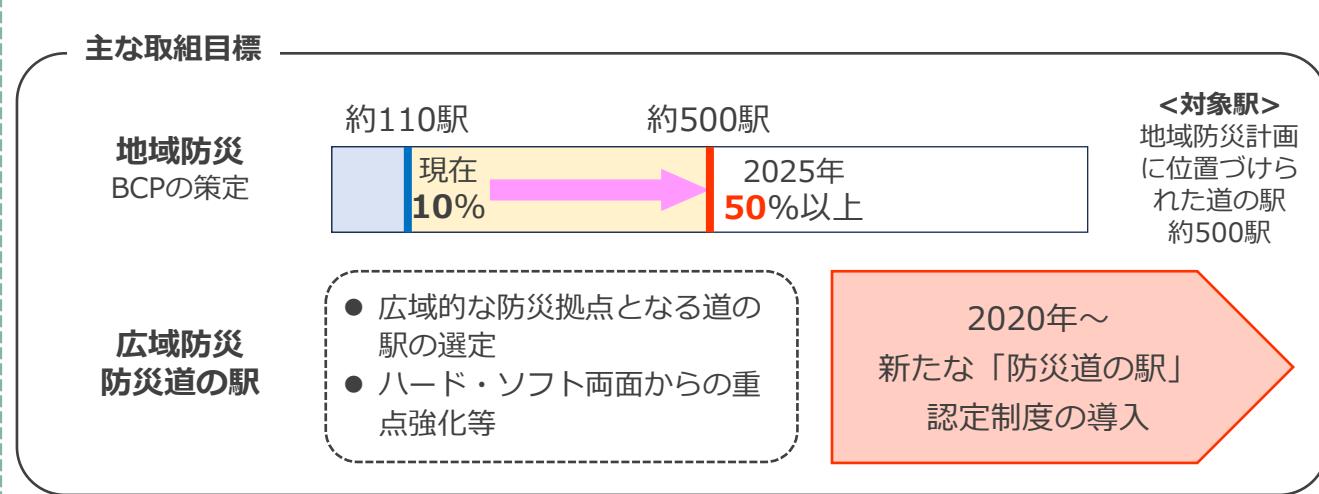
### 2-3-1. 「道の駅」を世界ブランドへ

- 海外へのプロモーションやプロジェクト展開を国が推進
- 道の駅では、国や連絡会の支援も受けて、多言語対応やキャッシュレスなど基本サービスを用意
- 多様な交通手段と地域、観光施設情報等がまとめて提供されるサービス（観光MaaS）の導入等により移動を活発化



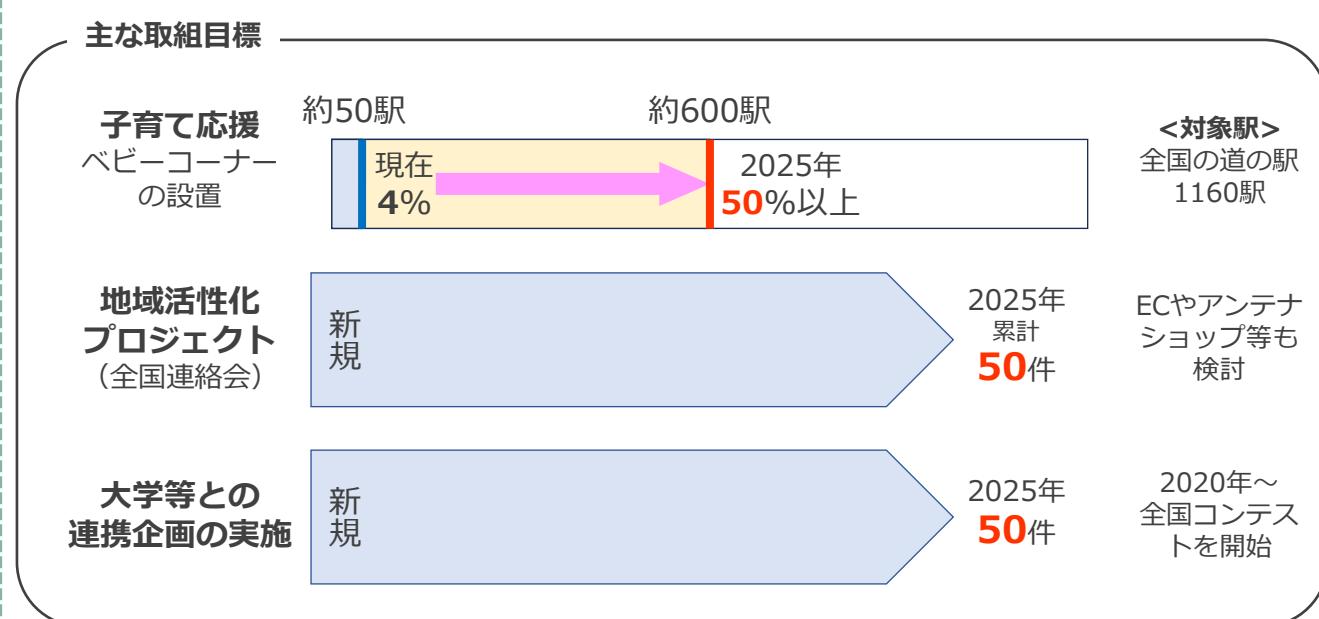
### 2-3-2. 新「防災道の駅」が全国の安全拠点に

- 広域的な防災機能を担うため、国等の支援を受けてハード・ソフト対策を強化した「防災道の駅」を新たに導入
- 住民や道路利用者、外国人観光客も含め、他の防災施設と連携しながら安全・安心な場を提供
- 各道の駅でも、地域の防災計画に基づいて、BCPの策定、防災訓練など災害時の機能確保に向けた準備を着実に実施



### 2-3-3. あらゆる世代が活躍する舞台となる地域センターに

- 道の駅を舞台に、地域の課題解決や民間とタイアップしたプロジェクトが、ボランティアを含めた様々な団体との協働や、全国連絡会等が橋渡しを行いながら、全国各地で盛んに実施
- 地域の子育てを応援する施設の併設や、高齢者の生活の足を確保するための自動運転サービスのターミナルとなるなど、あらゆる世代が「道の駅」で活躍するための環境を提供
- 多くの学生達が、「道の駅」でインターンとして業務を経験したり、実習に訪れ、地域の特産品をいかした商品開発に取り組み、全国コンテスト優勝を目指して奮闘



# 3. 利用者ニーズ調査

## 3-1. 利用者ニーズ調査の概要

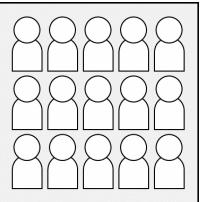
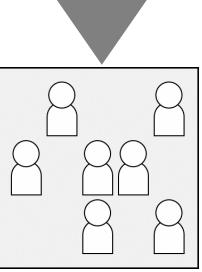
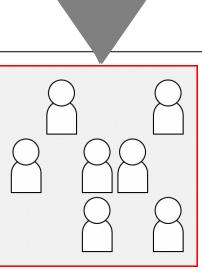
### 3-1-1. 目的と調査範囲

目的	今後、本道の駅の利用者となっていく町民・市民や誘客により、本道の駅に 来訪することが期待できる利用者にアンケート等を実施し、上三川町の道の 駅に対して、どのような機能・施設を求めているか、どのようなイベントを 求めているかを把握する。
調査範囲・規模	<p>① 日常的な利用が想定される方(上三川町民・周辺地域住民) 上三川町、宇都宮市、真岡市、下野市、壬生町、芳賀町、鹿沼市、小山市 8市町在住者 回収数：400票</p> <p>② 観光での利用が想定される方(観光客) 栃木県（日常利用する方以外）、茨城県、埼玉県、東京都、群馬県、 福島県、神奈川県、千葉県 在住、かつ、上三川町を知っている方 回収数：400票</p>
調査手法	WEBアンケート（楽天インサイト） 配布：3月12日 回収：3月13日

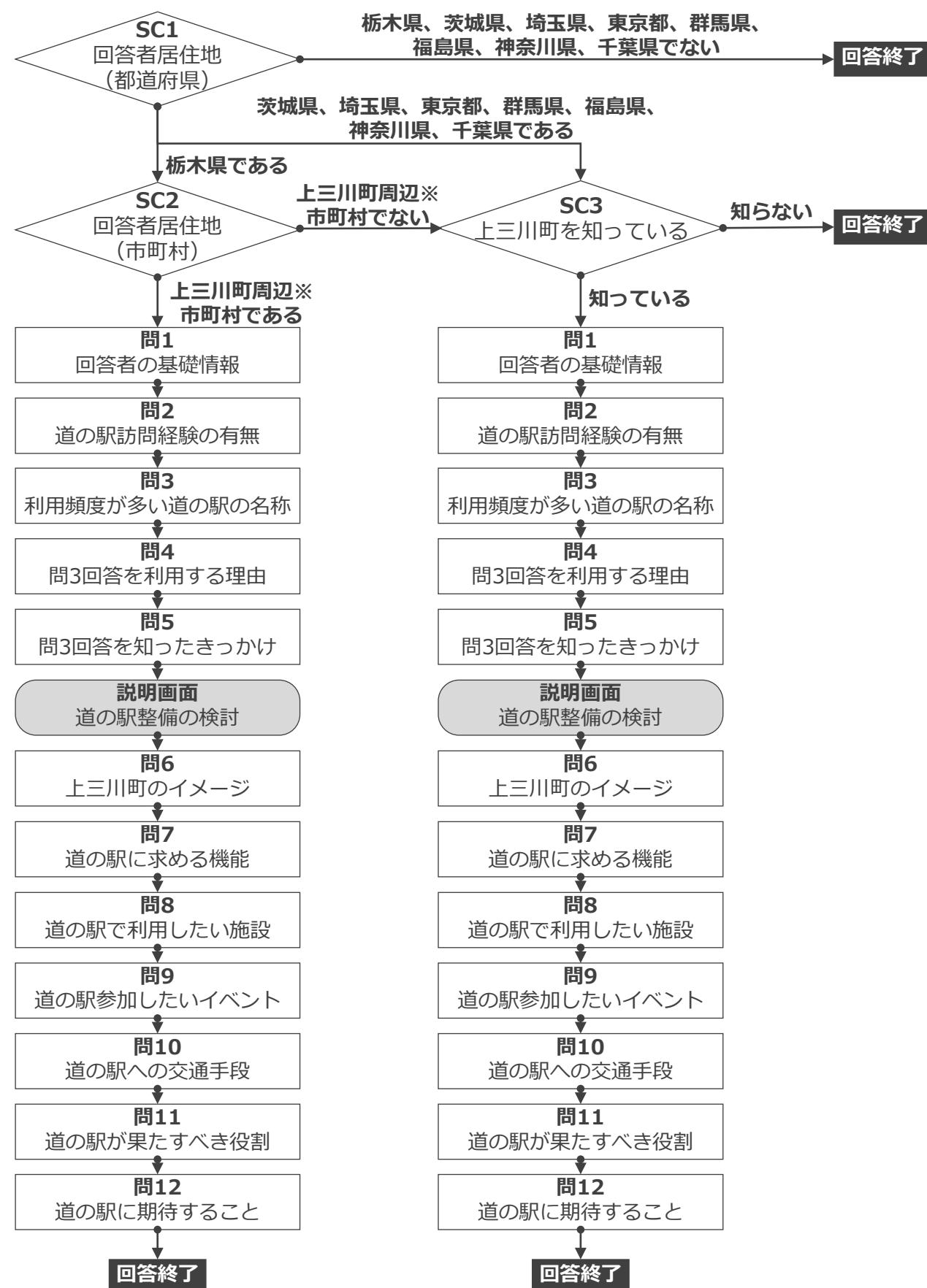
※「令和4年 度栃木県観光動態調査」より、来訪する観光客（日帰り・宿泊）の在住地域上位8都道府県

### 3-1-2. スクリーニング調査

スクリーニング調査とは、調査対象条件に合致する対象者を抽出するための事前調査です。

	<p>① スクリーニング調査（回答者4000人）</p> <p>調査対象条件に合致する対象者を抽出するための事前調査</p> <p>SC1 あなたの住んでいる都道府県を教えてください SC2 あなたの住んでいる市町村を教えてください SC3 栃木県河内郡上三川町を知っていますか</p>
	<p>② 対象者抽出</p> <p>①の結果を基に対象者を抽出した</p> <p>① 日常的な利用が想定される方（上三川町民・周辺地域住民） → 栃木県在住かつ、上三川町周辺市町村在住の回答者</p> <p>② 観光での利用が想定される方（観光客） → ・ 栃木県在住かつ、上三川町周辺地域非在住の回答者 ・ 茨城県、埼玉県、東京都、群馬県、福島県、神奈川県、千葉県在住かつ、 上三川町を知っている回答者</p>
	<p>本調査（回答者800人）</p> <p>①、②の対象者に対して本調査を行った</p>
	④ 集計→結果

### 3-1-3. 調査フロー図



# 3. 利用者ニーズ調査

## 3-2. 調査票

### SC1 あなたの住んでいる都道府県を教えてください。

- |      |       |       |       |
|------|-------|-------|-------|
| ①北海道 | ⑬東京都  | ⑮滋賀県  | ⑰香川県  |
| ②青森県 | ⑭神奈川県 | ⑯京都府  | ⑱愛媛県  |
| ③岩手県 | ⑰新潟県  | ⑳大阪府  | ㉑高知県  |
| ④宮城県 | ⑱富山県  | ㉒兵庫県  | ㉓福岡県  |
| ⑤秋田県 | ⑳石川県  | ㉔奈良県  | ㉕佐賀県  |
| ⑥山形県 | ㉖福井県  | ㉗和歌山県 | ㉘長崎県  |
| ⑦福島県 | ㉙山梨県  | ㉚鳥取県  | ㉛熊本県  |
| ⑧茨城県 | ㉜長野県  | ㉝島根県  | ㉞大分県  |
| ⑨栃木県 | ㉟岐阜県  | ㊱岡山県  | ㊲宮崎県  |
| ⑩群馬県 | ㊳静岡県  | ㊴広島県  | ㊵鹿児島県 |
| ⑪埼玉県 | ㊶愛知県  | ㊷山口県  | ㊸沖縄県  |
| ⑫千葉県 | ㊹三重県  | ㊺徳島県  |       |

### SC2 あなたの住んでいる市町村を教えてください。

- |       |      |      |      |
|-------|------|------|------|
| ①上三川町 | ③真岡市 | ⑤下野市 | ⑦鹿沼市 |
| ②宇都宮市 | ④壬生町 | ⑥芳賀町 | ⑧その他 |

### SC3 栃木県河内郡上三川町を知っていますか

- |        |       |
|--------|-------|
| ①知っている | ②知らない |
|--------|-------|

### 問1. あなたの事についてお聞きます。

職業	①会社員	⑥専業主婦・主夫
	②公務員	⑦学生
	③自営業や個人事業主	⑧アルバイトやパート
	④会社役員	⑨無職
	⑤自由業	⑩その他
同居家族について	①配偶者	④自身の親・配偶者の親
	②子供	⑤その他
	③同居していない	
自家用車の所有状況	①所有している	②所有していない

### 問2. 今まで道の駅に行ったことはありますか。

- |     |     |
|-----|-----|
| ①ある | ②ない |
|-----|-----|

### 問3. 問2で「ある」と答えた方は、最も行く頻度の多い道の駅はどこですか。（自由記述）

ひとつまで
-------

### 問4. 問2で選択した道の駅に行く頻度が多い理由は何ですか。

- ①車で移動中、気軽に休憩ができるから
- ②その土地の名産品を購入することができるから
- ③その土地の食材を食べることができるから
- ④その地域の観光情報や道路の情報を入手することができるから
- ⑤建物のデザインが良いから、あるいは親しみやすいから
- ⑥特徴的な催しやイベントがあるから
- ⑦トイレがきれい使いやすいから
- ⑧その他（ ）

### 問5. 問2で選択した道の駅を知ったきっかけは何ですか。

- |                             |                            |
|-----------------------------|----------------------------|
| ①新聞・雑誌等の記事                  | ⑧カーナビ                      |
| ②地域新聞（ミニコミ誌）<br>販促雑誌等の記事・宣伝 | ⑨知人から聞いて                   |
| ③チラシやパンフレット                 | ⑩SNS                       |
| ④ポスター・掲示物                   | ⑪たまたま通りかかった、道路案内<br>表示板を見た |
| ⑤テレビ                        | ⑫ラジオ                       |
| ⑥インターネット                    | ⑬その他（ ）                    |
| ⑦行政の広報雑誌                    |                            |

### 問6. 上三川町にどんなイメージを持っていますか。（いくつでも）

- |        |          |         |
|--------|----------|---------|
| ①気候が良い | ④産業が豊か   |         |
| ②自然が豊か | ⑤食事が美味しい | ⑦わからない  |
| ③文化が豊か | ⑥地域活動が盛ん | ⑧その他（ ） |

### 問7. 上三川町に道の駅が整備される場合、道の駅に求める機能はなんですか。（3つまで）

- ①車で移動中、気軽に休憩ができる機能
- ②上三川町ならではのものを購入することができる機能
- ③上三川町ならではのものを食べることができる機能
- ④上三川町や周辺地域の観光情報を入手することができる機能
- ⑤上三川町周辺の道路情報を入手することができる機能
- ⑥上三川町の産業に触れることができる機能
- ⑦地域住民と観光客が交流できる機能
- ⑧特徴的な催しやイベントを開催する機能
- ⑨子育てを支援する機能
- ⑩子供が遊べる機能
- ⑪上三川町の産業を体験する機能
- ⑫バリアフリー機能(高齢者などにやさしい機能)
- ⑬防災機能
- ⑭最先端の環境に配慮した機能
- ⑮上三川町への移住・定住を促進するような機能
- ⑯その他( )

### 問8. 上三川町に道の駅が整備される場合、道の駅にどのような施設があれば利用したいと思いますか。（3つまで）

- |                         |                  |
|-------------------------|------------------|
| ①産地直売所・販売所または<br>市場的な施設 | ⑩公園・広場・緑地        |
| ②お土産等の物販所・売店            | ⑪資料館・博物館・美術館     |
| ③飲食店(食堂・レストラン・<br>カフェ等) | ⑫産業体験・展示施設       |
| ④トイレ                    | ⑬ドッグラン           |
| ⑤授乳室、乳児室等               | ⑭キャンプ・バーベキュー場    |
| ⑥体験学習施設                 | ⑮商品加工施設          |
| ⑦休憩所(屋内)                | ⑯地域活動などのための貸スペース |
| ⑧休憩所(屋外)                | ⑰宿泊施設            |
| ⑨道路・地域情報コーナー            | ⑱コワーキングスペース      |
|                         | ⑲役所の出先機関         |
|                         | ⑳その他( )          |

### 問9. 上三川町に道の駅が整備される場合、どのようなイベントがあれば利用したいと思いますか。（3つまで）

- ①グルメや地元特産品を活かした「食」のイベント・マルシェ
- ②朝市やフリーマーケットや「物販」のイベント
- ③ひなまつり、夏まつり、花火、クリスマス、などの  
「伝統的なおまつり」イベント
- ④コンサートなどの「音楽」イベント
- ⑤自然観察会などの子どもを中心とした「体験」イベント
- ⑥農業や森林に関する学習、研修、講座などの「学ぶ」イベント
- ⑦外国人との交流を促す「国際交流」に関するイベント
- ⑧防災訓練や防災に関する勉強会などの「防災」に関するイベント
- ⑨その他( )

### 問10. 上三川町に道の駅が整備される場合、どのような交通手段で行きたいですか。

- |      |       |       |         |
|------|-------|-------|---------|
| ①徒歩  | ③バイク  | ⑤自家用車 | ⑦営業車    |
| ②自転車 | ④公共交通 | ⑥トラック | ⑧その他（ ） |

### 問11. 上三川町に道の駅が整備される場合、果たすべき役割はなんだと思いますか。（3つまで）

- ①農業を振興させる役割
- ②飲食業を発展させる役割
- ③地元産業を振興させる役割
- ④地域住民のコミュニティを高める役割
- ⑤地域住民の消費を支える役割
- ⑥多くの観光客を呼び込む役割
- ⑦先端技術を活用・新たに生み出す役割
- ⑧教育機関や研究機関との連携を推進する役割
- ⑨防災拠点としての役割
- ⑩持続可能な社会を形成する役割
- ⑪その他（ ）

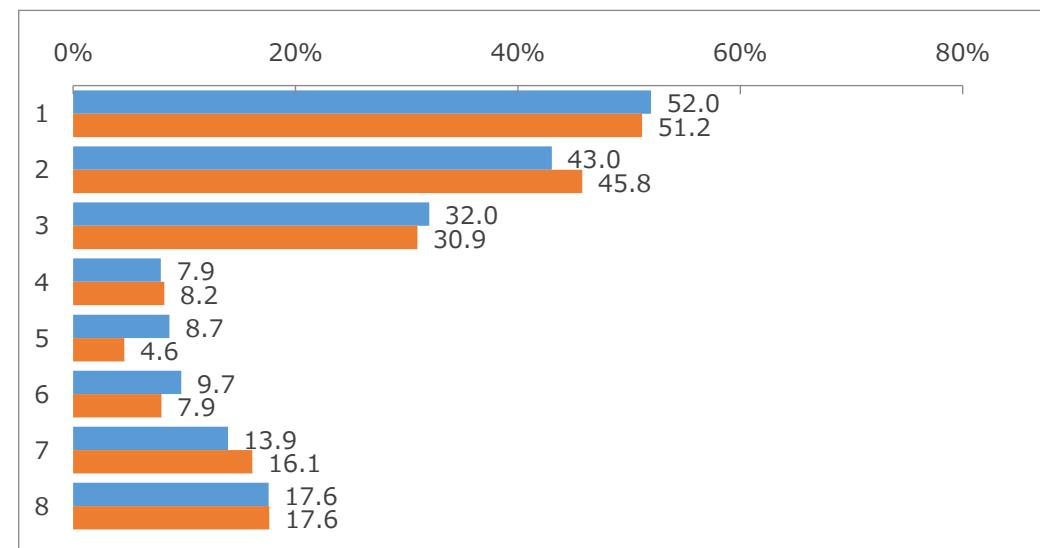
# 3. 利用者ニーズ調査

## 3-3. 調査結果

### 問4. 問2で選択した道の駅の行く頻度が多い理由は何ですか。(いくつでも)

- 利用頻度が多い道の駅を利用する理由は属性①および属性②ともに「休憩」、「物販の利用」、「飲食の利用」が多い結果となりました。

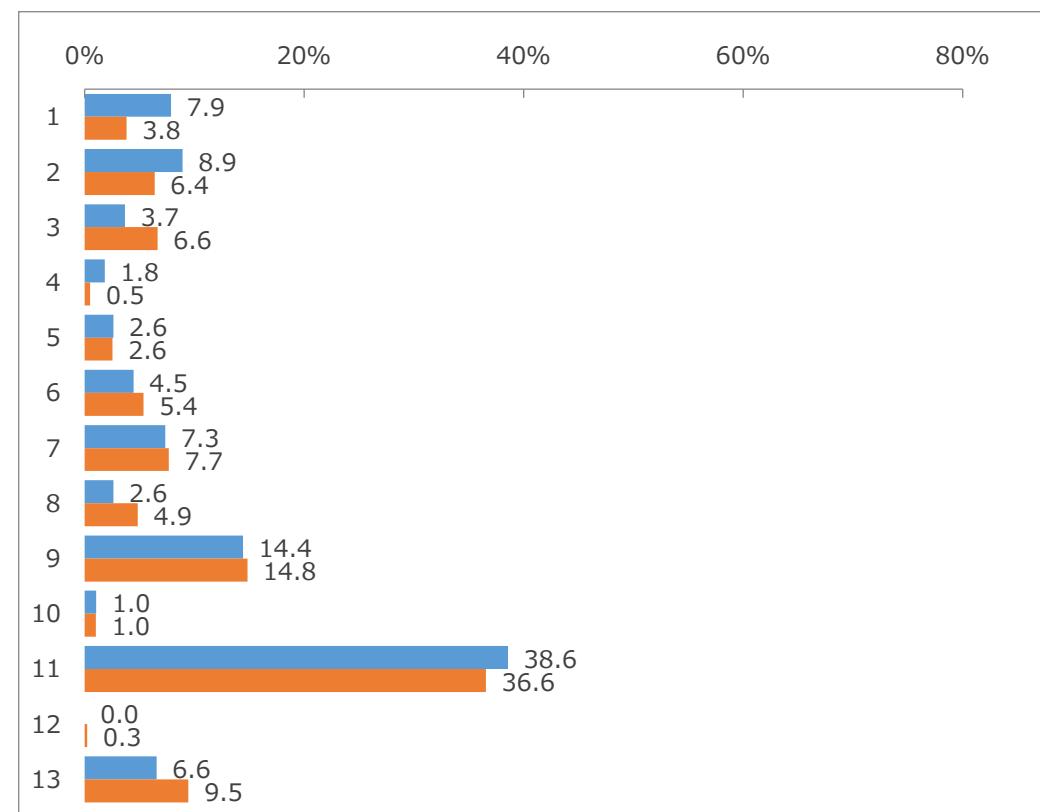
		属性① 日常利用想定 (%)	属性② 観光利用想定 (%)
1	車で移動中、気軽に休憩ができるから	52.0	51.2
2	その土地の名産品を購入することができるから	43.0	45.8
3	その土地の食材を食べることができるから	32.0	30.9
4	その地域の観光情報や道路の情報を入手することができるから	7.9	8.2
5	建物のデザインが良いから、あるいは親しみやすいから	8.7	4.6
6	特徴的な催しやイベントがあるから	9.7	7.9
7	トイレがきれいで使いやすいから	13.9	16.1
8	その他	17.6	17.6



### 問5. 問2で選択した道の駅を知ったきっかけは何ですか。

- 利用頻度が多い道の駅を知ったきっかけは属性①および属性②ともに「たまたま通りかかった、道路案内表示を見た」が多い結果となりました。

		属性① 日常利用想定 (%)	属性② 観光利用想定 (%)
1	新聞・雑誌等の記事	7.9	3.8
2	地域新聞(ミニコミ誌)販促雑誌等の記事・宣伝	8.9	6.4
3	チラシやパンフレット	3.7	6.6
4	ポスター・掲示物	1.8	0.5
5	テレビ	2.6	2.6
6	インターネット	4.5	5.4
7	行政の広報雑誌	7.3	7.7
8	カーナビ	2.6	4.9
9	知人から聞いて	14.4	14.8
10	SNS	1.0	1.0
11	たまたま通りかかった、道路案内表示板を見た	38.6	36.6
12	ラジオ	0.0	0.3
13	その他	6.6	9.5



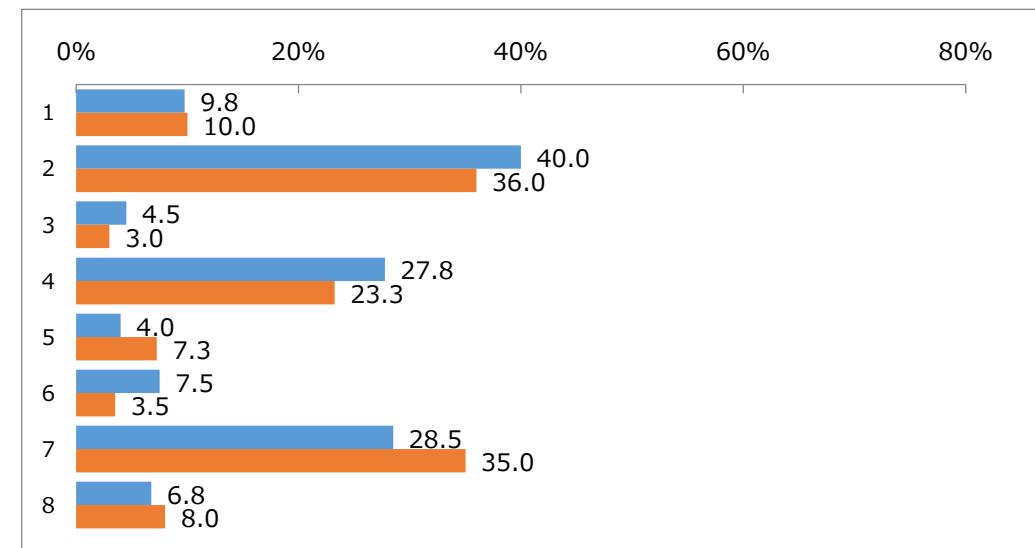
# 3. 利用者ニーズ調査

## 3-3. 調査結果

### 問6. 上三川町にどんなイメージを持っていますか。(いくつでも)

- 上三川町に持つイメージは属性①および属性②ともに「自然が豊か」、属性①は次いで「産業が豊か」、属性②は次いで「わからない」が多い結果となりました。

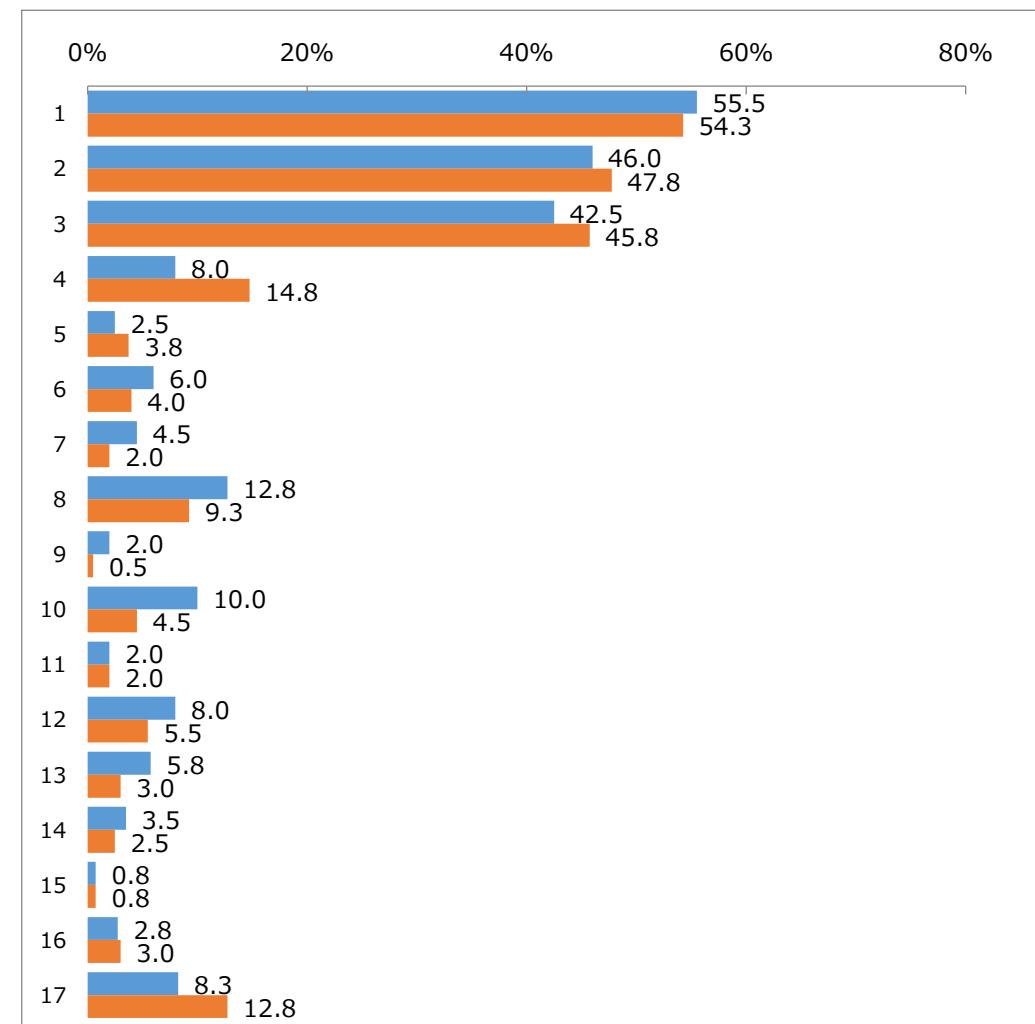
		属性① 日常利用想定 (%)	属性② 観光利用想定 (%)
1	気候が良い	9.8	10.0
2	<b>自然が豊か</b>	40.0	36.0
3	文化が豊か	4.5	3.0
4	<b>産業が豊か</b>	27.8	23.3
5	食事が美味しい	4.0	7.3
6	地域活動が盛ん	7.5	3.5
7	<b>わからない</b>	28.5	35.0
8	その他	6.8	8.0



### 問7. 上三川町に道の駅が整備される場合、道の駅に求める機能はなんですか。(3つまで)

- 仮称「道の駅かみのかわ」に求める機能は属性①および属性②ともに「休憩機能」、「物販機能」、「飲食機能」が多い結果となりました。

		属性① 日常利用想定 (%)	属性② 観光利用想定 (%)
1	<b>車で移動中、気軽に休憩ができる機能</b>	55.5	54.3
2	<b>上三川町ならではのものを購入することができる機能</b>	46.0	47.8
3	<b>上三川町ならではのものを食べることができる機能</b>	42.5	45.8
4	上三川町や周辺地域の観光情報を入手することができる機能	8.0	14.8
5	上三川町周辺の道路情報を入手することができる機能	2.5	3.8
6	上三川町の産業に触れることができる機能	6.0	4.0
7	地域住民と観光客が交流できる機能	4.5	2.0
8	特徴的な催しやイベントを開催する機能	12.8	9.3
9	子育てを支援する機能	2.0	0.5
10	子供が遊べる機能	10.0	4.5
11	上三川町の産業を体験する機能	2.0	2.0
12	バリアフリー機能(高齢者などにやさしい機能)	8.0	5.5
13	防災機能	5.8	3.0
14	最先端の環境に配慮した機能	3.5	2.5
15	上三川町への移住・定住を促進するような機能	0.8	0.8
16	その他	2.8	3.0
17	求める機能はない	8.3	12.8



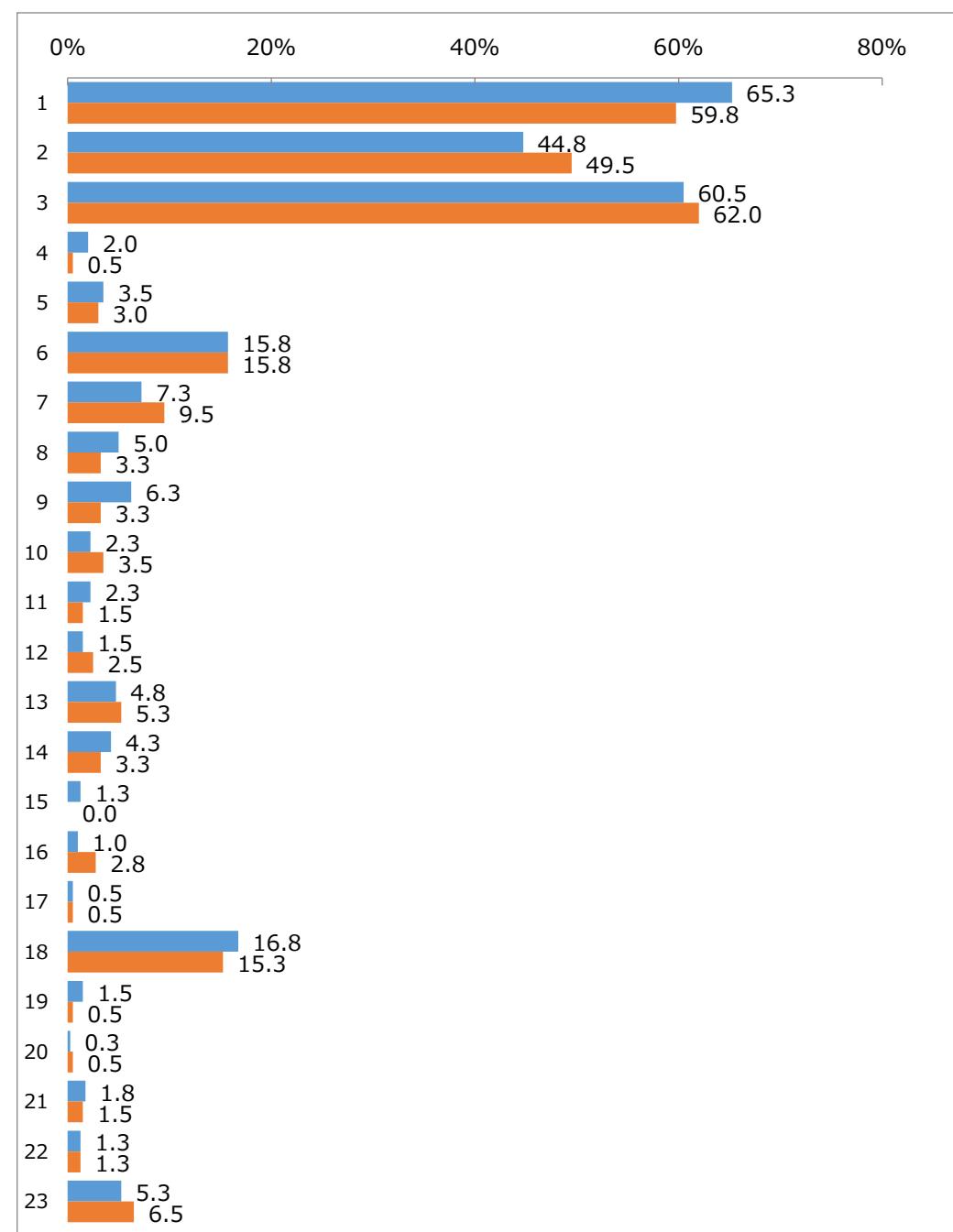
# 3. 利用者ニーズ調査

## 3-3. 調査結果

問8. 上三川町に道の駅が整備される場合、道の駅にどのような施設があれば利用したいと思いますか。(3つまで)

- 仮称「道の駅かみのかわ」に求める施設は属性①および属性②ともに「産地直売所・販売所」、「物販所・売店」、「飲食店」が多い結果となりました。
- その他、「屋内休憩所」、「温浴施設」が多い結果となりました。

		属性① 日常利用想定 (%)	属性② 観光利用想定 (%)
1	産地直売所・販売所または市場的な施設	65.3	59.8
2	お土産等の物販所・売店	44.8	49.5
3	飲食店（食堂・レストラン・カフェ等）	60.5	62.0
4	授乳室、乳児室等	2.0	0.5
5	体験教室・講座・創作体験施設	3.5	3.0
6	休憩所(屋内)	15.8	15.8
7	休憩所(屋外)	7.3	9.5
8	広場（ステージ）・緑地	5.0	3.3
9	遊具	6.3	3.3
10	資料館・博物館・美術館	2.3	3.5
11	産業体験施設（観光農園、工場見学など）	2.3	1.5
12	展示施設（地元工芸品、地元企業の製品など）	1.5	2.5
13	ドッグラン	4.8	5.3
14	キャンプ・バーベキュー場	4.3	3.3
15	地域活動などのための貸スペース	1.3	0.0
16	宿泊施設	1.0	2.8
17	コワーキングスペース	0.5	0.5
18	温浴施設	16.8	15.3
19	アーバンスポーツ施設	1.5	0.5
20	診療所	0.3	0.5
21	グランピング	1.8	1.5
22	その他	1.3	1.3
23	利用したいと思わない	5.3	6.5



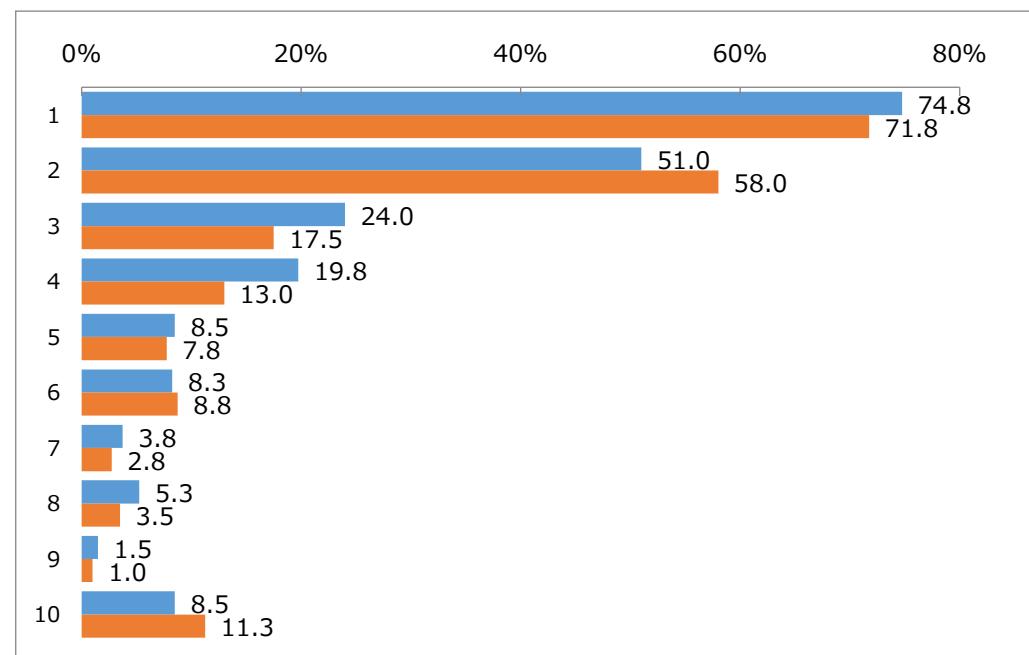
# 3. 利用者ニーズ調査

## 3-3. 調査結果

### 問9. 上三川町に道の駅が整備される場合、どのようなイベントがあれば利用したいと思いますか。(3つまで)

- 仮称「道の駅かみのかわ」に求めるイベントは属性①および属性②ともに「食に関するイベント」、「物販に関するイベント」が多い結果となりました。

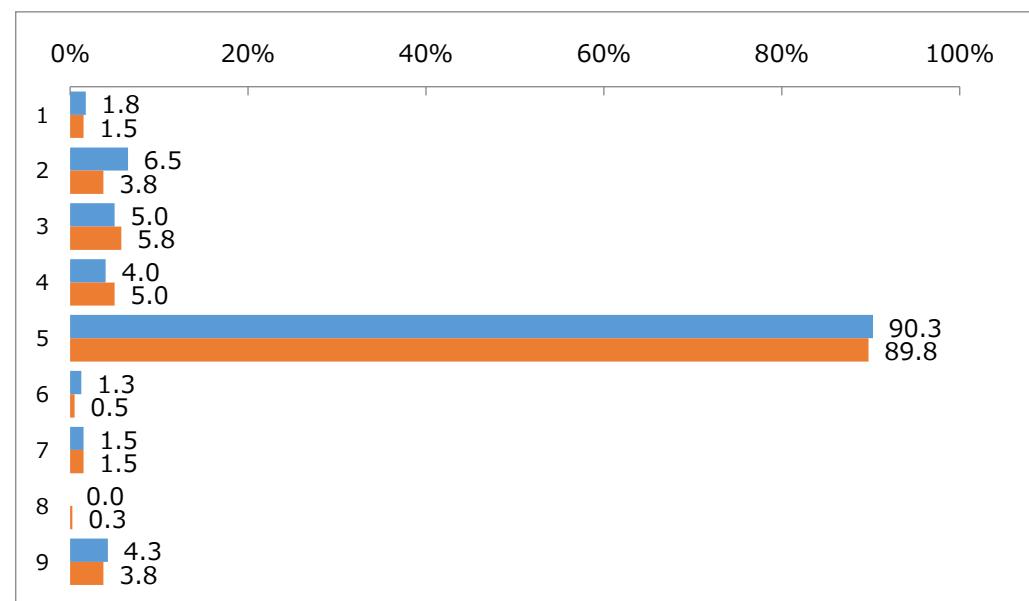
		属性① 日常利用想定 (%)	属性② 観光利用想定 (%)
1	グルメや地元特産品を活かした「食」のイベント・マルシェ	74.8	71.8
2	朝市やフリーマーケットなどの「物販」のイベント	51.0	58.0
3	ひなまつり、夏まつり、花火、クリスマスなどの「伝統的なお祭り」イベント	24.0	17.5
4	コンサートなどの「音楽」イベント	19.8	13.0
5	自然観察会などの子どもを中心とした「体験」イベント	8.5	7.8
6	農業や森林に関する学習、研修、講座などの「学ぶ」イベント	8.3	8.8
7	外国人との交流を促す「国際交流」に関するイベント	3.8	2.8
8	防災訓練や防災に関する勉強会などの「防災」に関するイベント	5.3	3.5
9	その他	1.5	1.0
10	利用したいと思わない	8.5	11.3



### 問10. 上三川町に道の駅が整備される場合、どのような交通手段で行きたいですか。(いくつでも)

- 仮称「道の駅かみのかわ」への交通手段は属性①および属性②ともに「自家用車」が多い結果となりました。

		属性① 日常利用想定 (%)	属性② 観光利用想定 (%)
1	徒歩	1.8	1.5
2	自転車	6.5	3.8
3	バイク	5.0	5.8
4	公共交通	4.0	5.0
5	<b>自家用車</b>	90.3	89.8
6	トラック	1.3	0.5
7	営業車	1.5	1.5
8	その他	0.0	0.3
9	行きたいと思わない	4.3	3.8



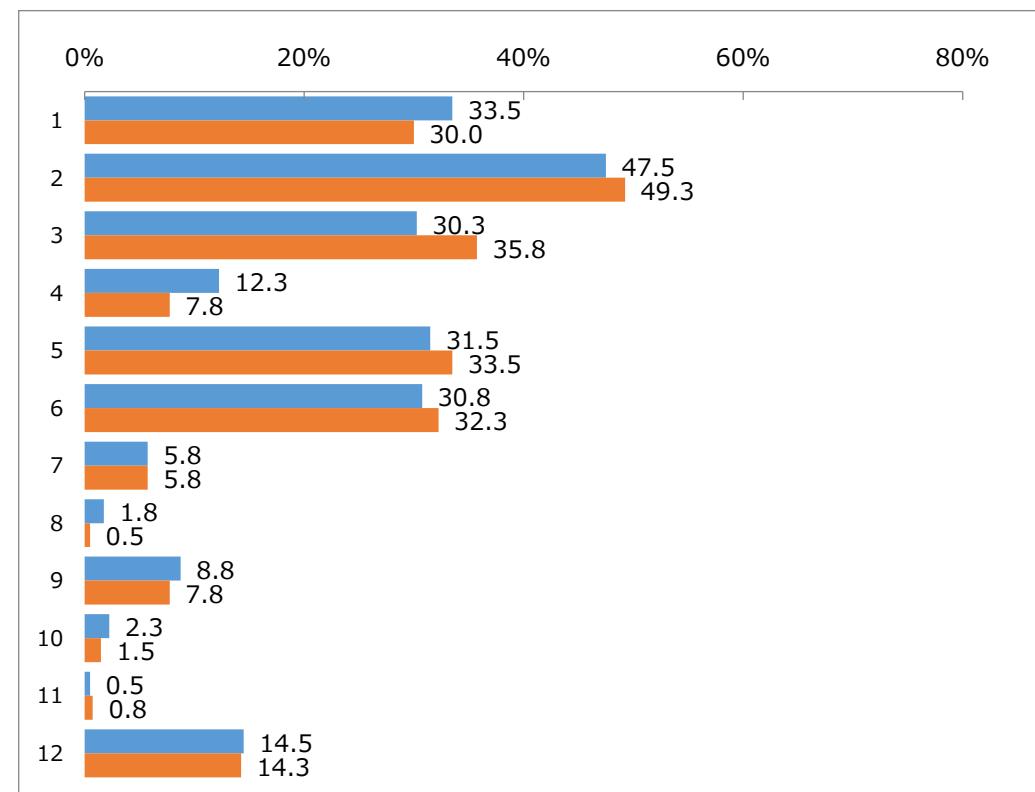
# 3. 利用者ニーズ調査

## 3-3. 調査結果

問11. 上三川町に道の駅が整備される場合、果たすべき役割はなんだと思いますか。

- 仮称「道の駅かみのかわ」が果たすべき役割は属性①および属性②ともに「農業を振興させる役割」、「飲食業を発展させる役割」、「地元産業を振興させる役割」、「地域住民の消費を支える役割」、「観光客を呼び込む役割」が多い結果となりました。

		属性① 日常利用想定 (%)	属性② 観光利用想定 (%)
1	農業の担い手不足の解消や収入増加などによる農業を振興させる役割	33.5	30.0
2	地域のB級グルメの認知度向上や周辺レストランの紹介などによる飲食業を発展させる役割	47.5	49.3
3	地元産業の製品や先端技術の紹介・体験などによる地元産業を振興させる役割	30.3	35.8
4	地域の会議やイベント開催などによる地域住民のコミュニティを高める役割	12.3	7.8
5	野菜や日用品の購入などによる地域住民の消費を支える役割	31.5	33.5
6	道の駅独自の商品を販売・飲食や体験メニューなどによる多くの観光客を呼び込む役割	30.8	32.3
7	自動運転サービスなどによる先端技術を活用・新たに生み出す役割	5.8	5.8
8	教育機関や研究機関との連携を推進する役割	1.8	0.5
9	防災倉庫の整備や災害時の避難場所などによる防災拠点としての役割	8.8	7.8
10	脱炭素への取り組みなどによる持続可能な社会を形成する役割	2.3	1.5
11	その他	0.5	0.8
12	特になし	14.5	14.3



# 3. 利用者ニーズ調査

## 3-3. 調査結果

問12. その他、道の駅に期待することがありましたらご自由にお書きください。（自由記述）

属性① 日常利用想定个回答（抜粋）	属性② 観光利用想定个回答（抜粋）
<ul style="list-style-type: none"><li>● ゆったりとした駐車スペース</li><li>● 地元の学生にアイデアを求める</li><li>● グルメの充実</li><li>● 上三川町の独自色を出して欲しい、</li><li>● 有機野菜をたくさん置いてほしいです。</li><li>● 休憩スペースの充実</li><li>● 他にはない特徴ある道の駅にしてほしい</li><li>● 県内の特産物及び工芸品の販売</li><li>● 混雑しないで遊べる空間が欲しい</li><li>● 日産車の展示などを含めクルマに親しめるところ</li><li>● 発展型道の駅</li><li>● 進入口を入りやすくしてほしい。R4からのアクセスをよくしてほしい。</li><li>● 有名な人が来るといいです。</li><li>● 本当に売れる特産品</li><li>● ユニバーサルデザイン</li><li>● 速やかにオープンして欲しい</li><li>● 地元地域の活性化</li><li>● 鬼怒川が近いので鮎料理も入れて頂きたい</li><li>● 観光機能の充実</li><li>● もっと緑を増やしてほしい</li><li>● 美味しいスイーツが売っていたりすると、興味をそそられる。</li><li>● 道の駅自体が 観光スポットになるような大きな道の駅</li><li>● 栃木県のPR</li><li>● 若い人の意見も考慮してつくって欲しい</li><li>● 地域の交流の場であってほしい。</li><li>● 地元の人買い物に来るような物販。</li><li>● イベントの充実</li><li>● 電子マネー等豊富な支払い方法があると嬉しいです。</li><li>● インターパークとの差別化</li><li>● バス網の充実</li><li>● サイクリングで鬼怒川サイクリングロードや田川サイクリングロードを利用するときの拠点になって欲しいです。</li><li>● 道の駅整備とセットで是非上三川地内の東西方向の道路整備、及び雀宮or石橋駅とのバス路線見直しを進めて欲しいです</li><li>● グランピング施設をお願いします。近くにありませんので。それと上三川名物ブラックチャーハンを食べられるお店をお願いします、とても美味しいので。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 長時間停車の車中泊を避けて欲しい</li><li>● 利用しやすい場所に設置してほしい</li><li>● 地域を活性化</li><li>● 地元特産品を販売</li><li>● 長続きする催し物はありがたい</li><li>● 物販をあまり高くしないでほしい</li><li>● 駐車場が広い事</li><li>● 通過途中の休憩駅ではなく、最終目的地の駅になること。</li><li>● 公共交通機関の充実</li><li>● 周辺地域を含めて混雑しない環境</li><li>● 採れたての新鮮な野菜などの直売をしてほしいです</li><li>● その土地の野菜の販売や、食事処に力を入れてほしい。</li><li>● 後期高齢者でも気楽に休憩できる場所が欲しい</li><li>● ユニバーサルデザイン</li><li>● 1,000円前後のスイーツ</li><li>● トラックの駐車場の数を増やしてほしい</li><li>● 北関東道の上三川インターを生かせるような施設</li><li>● 子供が安心して過ごせる</li><li>● 電気自動車の急速充電器を複数（3台）位設置してほしい。</li><li>● 24時間の温泉があればなおよし</li><li>● 日産とのコラボで試乗会、車両展示、中古車販売会があるといいと思います</li><li>● 地元の情報発信</li><li>● トラックドライバーの休息確保</li><li>● 車での利用の際、必ず駐車する為の渋滞が発生するので、誘導員などの配置が必要。</li><li>● 生き物や自然と触れ合える場所があると嬉しいな。</li><li>● 脱炭素</li><li>● Wi-Fiほしい</li><li>● 観光大使を見つける</li><li>● 地元産の食材を四季に合わせて提供して欲しい</li><li>● 旅先では、観光地から離れたスーパー等に立ち寄ります。見たことの無い食材等に会うのが楽しみです。このような体験が出来たら良いな、と思います。</li></ul>

# 4. スケジュール

	2024年												2025年			
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
<b>基本構想・基本計画策定懇談会</b>		●		●		●		●		●		●		●		
<b>① 基本構想</b>	→															
①-1. 条件の整理	→															
①-2. 事例調査	→	→														
①-3. 基本理念及びコンセプトの検討		→	→	→												
①-4. 導入機能についての基本方針の検討		→	→	→	→											
①-5. 整備及び管理運営手法の検討			→	→	→	→										
①-6. 基本構想（案）の作成				→	→	→	→									
①-7. 基本構想のパブリックコメントの実施								→								
<b>② 基本計画</b>	→															
②-1. 利用者ニーズ調査	→	→		→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
②-2. 導入機能及び施設規模の検討					→	→	→	→								
②-3. 配置計画の作成					→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
②-4. 施設整備計画の検討								→	→	→	→	→	→	→	→	→
②-5. 管理運営計画・管理運営主体の検討					→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
②-6. 基本計画（案）の作成												→	→	→	→	→
②-7. 基本計画のパブリックコメントの実施															→	→